本資料の正文は運用会社作成の英文資料です。記載内容は英文が優先しますので、必ずご確認ください。

FPE

2026/6/30

ファーストトラスト 優先証券＆インカムETF

»ファンドの目的

この上場投資信託（ETF）は、トータルリターンとインカム収益の獲得を目指します。

»ファンド概要

ファンドティッカー	FPE
ISIN	US33739E1082
CUSIP	33739E108
iNAVティッカー	FPEIV
ファンド設定日	2013/02/11
総経費率^	0.83%
30日SEC利回り†	5.45%
主要取引所	NYSE Arca

»ファンド詳細

» 当ファンドはアクティブ運用型の上場投資信託（ETF）です。通常の市場環境下において、ファンドは純資産総額（投資借入を含む）の80%以上を優先証券、および社債、ハイ・イールド債券、転換社債などのインカム創出債券に投資します。

- 優先証券は他の資産クラスとの相関が低く、分散性があるため、ポートフォリオのボラティリティを下げる可能性があります。
- 優先証券は、他の投資適格商品よりも利回りが高い可能性があるため、大きなリスクを負うことなく比較的高いインカムを生み出す可能性があります。
- 優先証券は、資本構成の上位に位置し、より安定した収入源を生み出し、変動が少ないため、普通株式よりも信頼性の高い収入源であることが歴史的に証明されています。

»ファンド・サブ・アドバイザー

» ストーンブリッジ・アドバイザーズLLCはファンドのサブ・アドバイザーであり、ポートフォリオを管理します。

- ストーンブリッジは、機関投資家や富裕層向けに優先証券やハイブリッド証券に関する高度な専門知識を提供するニッチな資産運用会社です。長年の経験を通じて、ストーンブリッジのチームは優先証券のポートフォリオを管理するための規律あるアプローチを開発しました。
- ストーンブリッジの投資哲学の根幹は、あらゆる市場サイクルを通じて適切なリスク水準を維持するためには、投資家は保有残高を分散させる必要があるという前提に基づいて構築されています。
- 優先証券の運用に特化し、保守的で規律あるアプローチを採用することで、顧客に優れたリターンを提供できると信じています。彼らの目標は、質の高い優先証券への分散投資を通じて魅力的なトータル・リターンを得ることです。
- 同社の投資運用チームは、マーケット・タイミングを信じません。その代わりに、ストーンブリッジはアクティブな運用スタイルで市場の非効率性を利用することで価値を高めています。ストーンブリッジの保守的な投資スタイルは、優先証券運用のプロバイダーとして成功するための基本です。

»パフォーマンス概要(%)

	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
ファンド・パフォーマンス*							
基準価額(NAV)	2.15	0.79	6.88	9.97	2.86	4.98	4.81
市場価格	2.20	0.95	6.51	10.10	2.85	5.00	4.82
指数パフォーマンス**							
ICE BofA US Investment Grade Institutional Capital Securities Index	2.30	1.98	6.29	8.93	3.76	5.29	5.32
Blended Benchmark	2.45	1.53	6.40	8.66	2.09	4.73	—
Bloomberg US Aggregate Bond Index	0.67	0.62	3.79	4.16	0.08	1.54	1.91

»年次トータルリターン(%)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	年初来
FPE	6.46	11.37	-4.71	17.57	6.50	4.94	-12.38	6.58	10.90	9.26	0.79
ICE BofA US Investment Grade Institutional Capital Securities Index	—	—	-4.51	18.57	8.22	2.46	-10.19	9.65	9.77	8.64	1.98
Blended Benchmark	5.13	11.32	-3.98	18.30	7.64	3.59	-14.04	7.13	9.62	7.72	1.53
Bloomberg US Aggregate Bond Index	2.65	3.54	0.01	8.72	7.51	-1.54	-13.01	5.53	1.25	7.30	0.62

»3年間の統計

	標準偏差(%)	アルファ	ベータ	シャープレシオ	相関関係
FPE	5.54	1.35	0.96	0.94	0.98
ICE BofA US Investment Grade Institutional Capital Securities Index	4.24	1.29	0.72	0.98	0.96
Blended Benchmark	5.65	—	1.00	0.70	1.00

モーニングスター総合評価 ★★★★

優先株式カテゴリーに属する66ファンドのうち、当ファンドはリスク調整後リターンに基づき、4つ星/66ファンド(3年)、3つ星/59ファンド(5年)、4つ星/44ファンド(10年)と評価されました。§

引用されているパフォーマンスデータは過去のものです。過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は *www.ftportfolios.jp* から確認できます。

^投資アドバイザーは一定の資産水準においてファンドの投資運用報酬を減額する報酬ブレイクポイントを導入しています。詳細につきましてはファンドの追加情報説明書をご覧下さい。ファンドの追加情報説明書は www.ftportfolios.com から入手できます。

† 30日SEC利回りは、直近の30日間に獲得した1株当たりの純投資利益を、期末日の1株当たりの最大公開価格で割って算出されます。

*基準価額（NAV）リターンは、ファンドの純資産（資産から負債を差し引いたもの）をファンドの発行済み株数で割った基準価額（NAV）に基づいています。市場価格リターンはファンドの基準価額（NAV）リターンが算出された時点の全米最良気配値「NBBO」の中間値を使用して決定されます。リターンは1年未満の期間を除き、平均年間トータルリターンです。

**掲載されている各指数のパフォーマンス情報は、例示のみを目的としており、実際のファンドのパフォーマンスを表すものではありません。指数のパフォーマンスは運用手数料や仲介費用がかからず、表示されたパフォーマンスから、そのような手数料や費用は差し引かれていません。指数は運用されていないため、投資家は指数に直接投資することはできません。ブレンド ベンチマークは、ICE BofA Core Plus Fixed Rate Preferred Securities Index、ICE BofA US Investment Grade Institutional Capital Securities Index、ICE USD Contingent Capital IndexおよびICE BofA US High Yield Institutional Capital Securities Indexの30/30/30/10ブレンドで構成されています。ブレンド ベンチマークは、優先証券およびハイブリッド証券市場の各セグメントの時価総額の比例を反映することを目的としています。ブレンド ベンチマークのリターンは、上記の各期間のインデックスの月次リターンを使用して計算されます。各月の初めに、インデックスは 30/30/30/10 比率に再調整され、各月の間に発生した比率からの乖離が考慮に入れられます。その後、月次リターンは上記の各期間について複利計算され、上記の各期間のブレンド ベンチマークのパフォーマンスが示されます。

ファーストトラスト 優先証券＆インカムETF

2026/6/30

» ポートフォリオ情報

保有証券数	262
加重平均実効デュレーション[1]	5.41 年
機関投資家向け証券の割合 (額面1000ドルなど)[2]	73.70%
個人投資家向け証券の割合 (額面25ドルなど)[3]	26.30%
額面の加重平均[4]	98.68%
CoCo/AT1エクスポージャー[6]	25.23%
地方銀行のエクスポージャー[7]	1.18%

» セキュリティ・タイプ (%)

変動金利転換条件付き固定金利証券	73.31
固定金利証券	25.02
変動金利証券	1.67

» 業種別内訳(%)

Banks	44.18
Insurance	14.36
Capital Markets	10.57
Electric Utilities	8.90
Multi-Utilities	4.98
Financial Services	3.63
Diversified Telecommunication Services	2.80
Wireless Telecommunication Services	2.51
Food Products	2.02
Oil, Gas & Consumable Fuels	1.25

» 上位保有10証券(%)

BANK OF AMERICA CORP Variable rate	2.56
Wells Fargo & Company, Series L, 7.500%	2.04
BARCLAYS PLC Variable rate	1.68
JPMORGAN CHASE & CO Variable rate	1.37
NextEra Energy Capital Holdings, Inc., Series U, 6.500%, Due 06/01/2085	1.34
BNP PARIBAS Variable rate	1.28
Xcel Energy Inc., 6.250%, Due 10/15/2085	1.24
CITIGROUP INC Series HH, Variable rate	1.23
CREDIT AGRICOLE SA Variable rate	1.23
CHARLES SCHWAB CORP Series H, Variable rate	1.09

» 信用格付別(%)[5]

A	0.82
A-	0.67
BBB+	16.18
BBB	29.11
BBB-	33.82
BB+	10.97
BB	2.74
BB-	1.78
B-	0.44
NR	3.47

[1]金利変動に対する債券の感応度を測る尺度で、利回りが変化した場合の債券価格の変化を反映します。

[2]機関投資家向け証券は、主に額面1000ドルの証券で、店頭でのみ取引されます。

[3]リテール証券は主に額面25ドルの証券ですが、上場取引の額面20ドル、50ドル、100ドルの額面証券も含まれます。

[4]加重平均額面比率は、ポートフォリオ内の債券の平均価格を原資産額面の比率として反映しています。これは、ポートフォリオ内の各証券の市場価値を使用した加重平均として計算されます。100を超える値は、原証券が平均してプレミアムで取引されていることを示し、100未満の値は、原証券が平均して割引価格で取引されていることを示します。債券の額面は通常100ドルまたは1000ドルで、上場小売証券の額面は通常25ドルです。

[5]提示される信用力及び格付情報は、S&Pグローバル・レーティングス、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、フィッチ・レーティングス、または同等の格付けのNRSROを含む、1つ以上の全国的に認知された統計格付機関（NRSRO）によって付与された格付を反映しています。1つの証券が複数のNRSROによって格付けされ、格付けが同等でない場合は、最も高い格付けが使用されます。サブ投資適格格付けとは、BB+/Ba1以下の格付けです。投資適格格付けとは、BBB-/Baa3以上の格付けです。「NR」は格付けなしを示します。表示されている信用格付は、ファンドの原証券の発行者の信用力に関するものであり、ファンドまたはその株式に関するものではありません。信用格付けは変更される場合があります。

[6]米国以外の銀行が発行する偶発的資本担保で、米国のAT1/Preferredとは異なり、普通株式への転換および/または元本評価損の契約メカニズムが含まれています。

[7]GICS業界分類基準による分類されます。

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料と費用を慎重に検討する必要があります。ファンドに関する情報やその他の情報が記載されている目論見書を入手するには、*First Trust Japan*（*www.ftportfolios.jp*）にお問い合わせください。目論見書は、投資を行う前によくお読み下さい。

リスクに関する考慮事項

ファンドへの投資において、損失が発生する可能性があります。ファンドへの投資は銀行預貯金ではなく保険や保証はありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通常の仲介手数料がかかる場合があります。ファンドのリスクに関する詳細については、各ファンドの目論見書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性の順位を示すものではありません。

投資信託とは異なり、ファンドの株式は、許可された参加者のみが非常に大規模な設定/償還単位でファンドから直接償還できます。ファンドの権限を与えられた参加者が設定/償還注文を進めることができず、他の参加者が設定または償還に踏み切らない場合、ファンドの株式はファンドの基準価額に対してプレミアムまたは割引で取引され、上場廃止に直面し、ビッド/アスクスプレッドが拡大する可能性があります。

銀行は、特に景気後退、為替レート、政府の規制、資本の利用可能性の低下、不安定な金利、地理的市場や商業用および住宅用不動産ローンへのポートフォリオの集中、および新規参入者との競争の悪影響にさらされています。さらに、銀行は連邦レベルと州レベルの両方で広範な規制を受けており、許容される活動、収益性、および維持しなければならない資本の量に影響を与える可能性があります。

金利低下局面において、発行体が高利回りの債券をコールした場合、ファンドは低金利での資金運用を余儀なくされ、ファンドの収入が減少する可能性があります。

設定と償還の全部または一部が、現物ではなく現金で行われるファンドは、税効率が低くなる可能性があります。

偶発転換社債（以下「CoCos」）は、特定の状況下で発行者の普通株式への強制的な転換を規定する場合があります。発行者の普通株式は配当を支払わない可能性があるため、これらの商品の投資家は所得率の低下を経験する可能性があり、場合によってはゼロになる可能性があります。そして、転換は投資家の従属を深め、したがって破産の地位を悪化させる可能性があります。

転換社債は、株式証券と債券の両方に関連するリスクにさらされています。転換社債の価値は、原株の市場価値によって上下する場合もあれば、発行体の金利や信用力の変化によって変動する場合もあります。

債務証券の発行者、またはその他の債務者が配当、利息、および/または元本の支払期日を守れない、または行う意思がない場合、その結果、証券の価値が下落する可能性があります。

信用格付機関が付与する格付は、当該企業の意見であり、信用力の絶対的な基準ではなく、有価証券のリスクを評価するものではありません。信用格付けを決定するプロセスにおける欠点や非効率性は、ファンドが保有する証券の信用格付けや、その認識または実際の信用リスクに悪影響を及ぼす可能性があります。

信用力の異なる債券間の利回りの差が大きくなる可能性があり、ファンドの債券の市場価値が下落する可能性があります。

為替レートや米国以外の通貨の相対価値の変動は、ファンドの投資価値やファンドの株式の価値に影響を与える可能性があります。

現在の市況リスクとは、特定の投資、またはファンドの株式全般が、現在の市況により価値が下落するリスクです。例えば、政府の財政政策や規制政策の変更、銀行や不動産市場の混乱、実際の国際的武力紛争や敵対行為の脅威、公共衛生上の危機など、他の重要な出来事がファンドの投資価値に重大な影響を与える可能性があります。

ファンドは、サイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けやすいです。このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加のコンプライアンス費用、および/または財務上の損失を被る可能性があります。

債券への投資は、保有者に発行体の信用リスクを負わせ、債券の価値は一般的に金利の変動に反比例して変動します。さらに、債券は通常、証券取引所で取引されないため、流動性が低く、評価が難しくなります。

預託証券は、主要な取引市場における原資産株式よりも流動性が低く、分配金には手数料がかかる場合があります。保有者は議決権が限られている場合があり、特定の国における投資制限がその価値に悪影響を及ぼす可能性があります。

新興国市場の証券への投資は、一般的に投機的であると考えられており、政治、経済、規制の状況に関連する追加のリスクを伴います。

株式証券は、短期間または長期間にわたって価格が大幅に下落する可能性があり、そのような下落は株式市場全体で発生する場合もあれば、市場の特定の国、企業、業界、またはセクターでのみ発生する場合もあります。

欧州諸国における政治的または経済的な混乱は、ファンドが投資されていない国であっても、セキュリティ価値、ひいてはファンドの保有に悪影響を及ぼす可能性があります。欧州の相当数の国が欧州連合の加盟国であり、加盟国はもはや自国の金融政策を管理していません。これらの加盟国では、通貨供給量やユーロの公定歩合などの金融政策を指示する権限は、欧州中央銀行によって行使されています。英国の欧州連合（EU）離脱の影響を測るのは難しく、まだ完全にはわかっていません。

エクステンション・リスクとは、金利が上昇すると、発行者（またはその他の義務を負う当事者）による特定の債務の返済が予想よりも遅くなり、これらの債務証券の価値が下落するリスクです。金利の上昇は、債券のデュレーションを長期化する傾向があり、その市場価値は金利変動に対してより敏感になります。

金融サービス企業は、景気後退、為替レート、政府規制、資本の利用可能性の低下、不安定な金利、地理的な市場、業界、または製品へのポートフォリオの集中、およびビジネス分野の新規参入者との競争の悪影響にさらされています。

次ページにて追加リスクをご覧ください。

ファーストトラスト 優先証券＆インカムETF

リスクに関する考慮事項（続き）

固定-変動金利証券とは、当初の固定配当率を設定し、当初の期間の満了時に変動配当率に転換する証券です。固定利付証券から変動利付証券は、固定利付証券よりも金利リスクに対する感応度が低い場合がありますが、一般的には、同様の固定利付証券よりも利回りが低くなります。

変動利付証券は、証券のクーポンレートが参照レートの水準に基づいて変動するように構成されています。その結果、変動金利証券のクーポンは、金利が下がると一般的に減少し、ファンドは証券から受け取る収入が減少します。変動金利証券のクーポンレートは、証券の条件に従って定期的にリセットされます。その結果、金利が上昇する環境下では、利率のリセット頻度が低い変動金利証券は、市場金利の変動に遅れをとる可能性があります。

ハイイールド債、または「ジャンク債」は、格付けの高い証券よりも流動性が低く、市場の変動や損失リスクが大きいため、投機的と考えられています。

ハイブリッド資本証券は、株式証券および債券のリスクの影響を受けます。ハイブリッド資本証券の保有者の請求権は、一般的に破産時においては従来型債務証券の保有者よりも劣後しているため、ハイブリッド資本証券が従来型債務証券よりも変動が激しく、リスクも大きくなる可能性があります。

ファンドの収益は、金利の低下やポートフォリオにデフォルトが発生した場合に減少する可能性があります。

ファンドは、ファンドの取引活動、規模、変動に大きな影響を与える可能性のある1つ以上の指数またはモデルの構成銘柄となる場合があります。

インフレの進行によりファンドの資産と分配金の現在価値が低下する可能性があります。

金利リスクとは、金利の上昇により、ファンドのポートフォリオ内の債務証券の価値が下がるリスクです。金利リスクは、一般的に短期債務証券の方が低く、長期債務証券の方が高くなります。

ファンドが他の投資会社の証券に投資する場合、ファンドはその投資会社の経費の比例負担分や、ファンドへの助言および管理手数料を負担する可能性があり、その結果、費用の重複が発生する可能性があります。上場投資会社の株式を購入、または売却する場合にもファンドに仲介費用が発生する場合があります。

大規模な資本企業は、市場全体よりも成長速度が遅い可能性があります。

ファンドがロンドン銀行間取引金利（LIBOR）を参照金利として使用する変動金利または変動金利の債務に投資する限り、LIBORリスクの影響を受けます。LIBORは参照レートとして利用できなくなりました。また、担保付翌日物調達金利（SOFR）を含む代替参照レートがLIBORと類似、LIBORと同額または経済的同等性を生み出すという保証はありません。LIBORの利用不可または代替された場合、特定のファンド投資価値、流動性、またはリターンに影響を与える可能性があり、ポジションの決済や新規取引の開始に関連した費用が発生する可能性があります。LIBORからの移行がファンドまたはファンドが投資する特定の商品に及ぼす潜在的な影響の予測は難しく、ファンドに損失をもたらす可能性があります。

特定のファンド投資は、転売、店頭取引、または取引量に限定がある場合、または活発な取引市場が不足している場合があります。流動性の低い証券は割引価格で取引される場合があり、市場価値の大幅な変動の影響を受ける可能性があります。

アクティブ運用ポートフォリオのポートフォリオマネージャーは、投資手法とリスク分析を適用しますが、望ましい結果をもたらさない可能性があります。

市場リスクとは、特定の証券、またはファンドの株式全般が値下がりするリスクです。証券は、一般的な経済状況、政治情勢、規制または市場の動向、金利の変化、証券価格の動向などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式の価値が下落したり、他の投資を下回ったりする可能性があります。さらに、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他の公衆衛生問題、不況、自然災害、その他の事象など、地域的、地方的、または世界的な出来事は、ファンドに重大な悪影響を与える可能性があります。

ファンドが直面する市場取引リスクには、マーケットメイカーの数が限られているためにファンド株式の活発な市場が欠如している可能性など多くのものがあります。マーケットメーカーや公認参加者が市場ストレス時に役割の縮小や退去することにより、ファンドのポートフォリオ証券の原資産価格とファンドの市場価格の関係を維持するアービトラージ プロセス、すなわち裁定プロセスの有効性が阻害される可能性があります。

米国以外の証券発行体は、通貨変動、政治的リスク、源泉徴収、流動性の欠如、適切な財務情報の欠如、米国以外の発行体に影響を与える為替管理の制限など、さらなるリスクにさらされます。

ファンド、およびファンドのアドバイザーは、管理や手続きを通じて様々な運用リスクの低減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドは、カストディを含むさまざまなサービスについて第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や失敗は、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

優先証券は、普通株式と債券の両方の特性の一部を兼ね備えています。優先株は通常、企業収益に対する優先順位という点で他の債務商品に劣後しているため、それらの債務商品よりも大きな信用リスクにさらされます。

ファンドの株式の市場価格は、一般的にファンドの基準価額（NAV）の変化、および取引所での株式の相対的な供給と需要に応じて変動し、ファンドの投資アドバイザーは、株式がNAVを下回るか、NAVで取引されるか、NAVを上回って取引されるかを予測することはできません。

期限前返済リスクとは、債務証券の発行者が予定された満期日より前に元本を返済するリスクです。前払いを認める債務証券は、ファンドが前払いの収益を低金利で再投資する必要がある場合があるため、金利が下がる期間中の利益の可能性が低くなる可能性があります。

不動産投資信託（以下「REIT」）は、不動産市場の変化、空室率と競争、金利の変動、景気後退など、不動産への投資リスクにさらされます。金利の上昇は、通常、REITの将来の収益源の現在価値を低下させ、不動産の購入や修繕の資金調達をより高くする可能性があります。REIT株の投資家が金利上昇を予想または経験した場合、ファンドの価値は一般的に低下します。

ファンドは、制限付き証券を短期間で売却できない場合、または現在価値を下回る価格でのみ売却できない場合があります。

シニアノート、または「ベビーボンド」は、ベビーボンドの発行体または保険会社が期日後に元本および/または利息の支払いを怠る可能性があり、ファンドが生み出す収入および/またはベビーボンドの価値に影響を与える可能性のあるリスクにさらされています。ベビーボンドは、他の債券投資に関連する典型的なリスクにも左右されます。

単一の資産クラス、国、地域、業界、セクターへのエクスポージャーが大きいファンドは、広く分散されたファンドよりも、経済的または政治的な不利な展開の影響をより受ける可能性があります。

中小資本企業の証券は、より大規模で確立された企業よりも価格の変動が大きく、流動性が低下する可能性があります。

劣後債は信用格付が低く、倒産時における発行体の優先順位が他の債務よりも低いため、不払いのリスクが高くなります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止される場合があります。ファンドが取引所上場を維持するための要件が今後も引き続き満たされ変わらないという保証はありません。

連邦政府機関および米国政府が後援機関によって発行または保証された証券は、米国政府の全面的な信頼と信用に裏打ちされている場合とそうでない場合があります。

ファンドが保有する証券やその他の資産は、市場相場以外の要素に基づいて評価される可能性があります。これは、資産または証券が中央集権的な取引所で取引されないため、または市場の混乱や流動性の低下時に発生する可能性があります。「公正評価」資産や有価証券など、市場相場以外の手法を使用して評価されたポートフォリオ保有は、市場相場が使用された場合よりも、日によって評価に大きな変動が生じる可能性があります。ファンドがいつでも設定された価値で売却またはポートフォリオポジションをクローズできるという保証はありません。

ファンドは、市場全体よりもボラティリティが高い証券に投資する場合があります。

First Trust Advisors L.P.は、当ファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P.は、当ファンドの販売代理店であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。ファースト・トラスト・ジャパンは、当ファンドの副販売会社です。

記載されている情報は、特定の人物に対する投資の推奨や助言を意図するものではありません。また、本資料は暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に投資戦略に関する決断を下したり、ファンドの現在または将来の価値や価格に関する意見を提供するものではありません。ファーストトラストは、投資家に関する知識はなく、いかなる情報も提供されていません。金融専門家は、特定の投資が顧客に適しているかどうかを判断する必要があります。

定義

標準偏差は、価格変動性（リスク）の尺度です。アルファは、投資がベンチマークと比較してリスク調整済みベースでどれだけアウトパフォームまたはアンダーパフォームするかを示す指標です。ベータは、市場に対する価格変動の尺度です。シャープレシオは、ボラティリティの単位あたりの超過報酬の尺度です。相関関係は、パフォーマンスの類似性の尺度です。ICE BofA Core Plus Fixed Rate Preferred Securities Indexは、米国国内市場で発行された米ドル建て固定金利優先証券のパフォーマンスに連動する指数です。ICE BofA US Investment Grade Institutional Capital Securities Indexは、米国国内市場で公に発行された米ドル建ての投資適格ハイブリッド・キャピタル・コーポレート証券および優先証券のパフォーマンスに連動する指数です。ICE USD Contingent Capital Indexは、主要な国内およびユーロ債市場で公に発行された投資適格および投資適格以下のコンティンジェント・キャピタル・デットのパフォーマンスを追跡します。ICE BofA US High Yield Institutional Capital Securities Indexは、米国国内市場で公に発行された米ドル建てのサブ投資適格ハイブリッド資本、企業、優先証券のパフォーマンスに連動する指数です。ブルームバーグ米国総合債券指数は、米国債、国債、社債、MBS、ABS、CMBSなど、投資適格の米ドル建て固定金利課税債券市場を対象としています。

§モーニングスター・レーティング™・フォー・ファンド（星評価）は、運用商品(投資信託、変額年金および変額生命保険のサブ口座、上場投資信託、クローズドエンド型ファンド、セパレート口座を含む)で、3年以上の履歴を持つファンドに対して算出されます。上場投資信託(ETF)とオープンエンド型ミューチュアルファンドは、比較目的で単一の集団と見なされます。これは、管理商品の月間超過パフォーマンスの変動を考慮しモーニングスターのリスク調整後、下方変動に重点を置き、一貫したパフォーマンスに報いる指標に基づいて計算されます。モーニングスター・レーティングには、販売負荷の調整は含まれていません。各商品カテゴリーの上位10%の商品には5つ星、次の22.5%には4つ星、次の35%には3つ星、次の22.5%には2つ星、下位10%には1つ星が与えられます。管理対象製品のモーニングスター総合評価は、3年、5年、10年(該当する場合)のモーニングスター評価指標に関連付けられたパフォーマンス数値の加重平均から導き出されます。加重は、36-59ヶ月の合計リターンは3年評価で100%、60-119ヶ月の合計リターンは5年評価で60%、3年評価で40%、120か月以上のトータルリターンは10年評価で50%、5年評価で30%、3年評価で20%です。10年間の総合星評価式は、10年間の評価が重視されているように見えますが、実際には、3つの評価期間全てに含まれるため、直近3年間の評価が最も大きな影響を与えています。©2026年 モーニングスター株式会社全著作権所有。ここに含まれるモーニングスター評価の記載情報は： (1)モーニングスターに帰属します。(2) 無断複製および配布を禁止します。(3) 正確性、完全性、適時性の保証はありません。モーニングスターおよびそのコンテンツプロバイダーは、本情報の使用から生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去のパフォーマンスは、将来の結果を保証するものではありません。

FPE

As of 30/6/26

First Trust Preferred Securities and Income ETF

» Fund Objective

This exchange-traded fund seeks total return and current income.

» Fund Facts

Fund Ticker	FPE
ISIN	US33739E1082
CUSIP	33739E108
Intraday NAV	FPEIV
Fund Inception Date	11/2/13
Total Expense Ratio^	0.83%
30-Day SEC Yield†	5.45%
Primary Listing	NYSE Arca

» Fund Description

» The First Trust Preferred Securities and Income ETF is an actively managed exchange-traded fund. Under normal market conditions, the fund invests at least 80% of its net assets (including investment borrowings) in preferred securities and income-producing debt securities, including corporate bonds, high yield securities and convertible securities.

- Preferred securities offer diversification and low correlation to other asset classes, which may reduce portfolio volatility.
- Preferred securities may produce a relatively high income stream without taking on significantly more risk, as yields may be higher than other investment-grade products.
- Preferred securities have historically proven to be a more reliable source of income than common stocks as they are senior in the capital structure, have produced a more stable stream of income and have been less volatile.

» Fund Sub-Advisor

» Stonebridge Advisors LLC is the sub-advisor to the fund and will manage the fund's portfolio.

- Stonebridge is a niche asset management firm that provides highly specialized expertise in preferred and hybrid securities for institutional investors and high net worth individuals. Through years of experience, the Stonebridge team has developed a disciplined approach to managing portfolios of preferred securities.
- The cornerstone of Stonebridge's investment philosophy is built on the premise that investors must diversify their holdings in order to maintain an appropriate level of risk through all market cycles.
- By specializing in the management of preferred securities and adhering to a conservative, disciplined approach, they believe they can deliver superior returns for their clients. Their goal is to obtain an attractive total return through a diversified investment in high quality preferred securities.
- Their investment management team does not believe in market timing. Instead, Stonebridge adds value by taking advantage of market inefficiencies with an active management style. Stonebridge's conservative investment style is fundamental to their success as a provider of preferred securities management.

» Performance Summary (%)

	3 Month	YTD	1 Year	3 Year	5 Year	10 Year	Since Fund Inception
Fund Performance*							
Net Asset Value (NAV)	2.15	0.79	6.88	9.97	2.86	4.98	4.81
Market Price	2.20	0.95	6.51	10.10	2.85	5.00	4.82
Index Performance**							
ICE BofA US Investment Grade Institutional Capital Securities Index	2.30	1.98	6.29	8.93	3.76	5.29	5.32
Blended Benchmark	2.45	1.53	6.40	8.66	2.09	4.73	—
Bloomberg US Aggregate Bond Index	0.67	0.62	3.79	4.16	0.08	1.54	1.91

» Calendar Year Total Returns (%)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	YTD
FPE	6.46	11.37	-4.71	17.57	6.50	4.94	-12.38	6.58	10.90	9.26	0.79
ICE BofA US Investment Grade Institutional Capital Securities Index	—	—	-4.51	18.57	8.22	2.46	-10.19	9.65	9.77	8.64	1.98
Blended Benchmark	5.13	11.32	-3.98	18.30	7.64	3.59	-14.04	7.13	9.62	7.72	1.53
Bloomberg US Aggregate Bond Index	2.65	3.54	0.01	8.72	7.51	-1.54	-13.01	5.53	1.25	7.30	0.62

» 3-Year Statistics

	Standard Deviation (%)	Alpha	Beta	Sharpe Ratio	Correlation
FPE	5.54	1.35	0.96	0.94	0.98
ICE BofA US Investment Grade Institutional Capital Securities Index	4.24	1.29	0.72	0.98	0.96
Blended Benchmark	5.65	—	1.00	0.70	1.00

Overall Morningstar Rating™ ★★★★

Among 66 funds in the Preferred Stock category. This fund was rated 4 stars/66 funds (3 years), 3 stars/59 funds (5 years), 4 stars/44 funds (10 years) based on risk adjusted returns.§

Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting www.ftportfolios.jp.

^The Investment Advisor has implemented fee breakpoints, which reduce the fund's investment management fee at certain assets levels. Please see the fund's Statement of Additional Information for full details. You can obtain the fund's Statement of Additional Information by visiting www.ftportfolios.jp.

†30-day SEC yield is calculated by dividing the net investment income per share earned during the most recent 30-day period by the maximum offering price per share on the last day of the period.

***NAV** returns are based on the fund's net asset value which represents the fund's net assets (assets less liabilities) divided by the fund's outstanding shares. **Market Price** returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price ("NBBO") as of the time that the fund's NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative.

**Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index. The Blended Benchmark consists of a 30/30/30/10 blend of the ICE BofA Core Plus Fixed Rate Preferred Securities Index, the ICE BofA US Investment Grade Institutional Capital Securities Index, the ICE USD Contingent Capital Index and the ICE BofA US High Yield Institutional Capital Securities Index. The Blended Benchmark is intended to reflect the proportional market cap of each segment of the preferred and hybrid securities market. The Blended Benchmark returns are calculated by using the monthly returns of the indices listed above during each period shown. At the beginning of each month the indices are rebalanced to a 30/30/30/10 ratio to account for divergence from that ratio that occurred during the course of each month. The monthly returns are then compounded for each period shown above, giving the performance for the Blended Benchmark for each period shown above.

First Trust Preferred Securities and Income ETF

As of 30/6/26

» Portfolio Information

Number Of Holdings	262
Weighted Average Effective Duration[1]	5.41 Years
% Institutional Securities (e.g. $1000 par)[2]	73.70%
% Retail Securities (e.g. $25 par)[3]	26.30%
Weighted Average % of Par[4]	98.68%
CoCo/AT1 Exposure[6]	25.23%
Regional Bank Exposure[7]	1.18%

» Security Type (%)

Fixed-to-Variable Rate Securities	73.31
Fixed Rate Securities	25.02
Floating Rate Securities	1.67

» Top Industry Exposure (%)

Banks	44.18
Insurance	14.36
Capital Markets	10.57
Electric Utilities	8.90
Multi-Utilities	4.98
Financial Services	3.63
Diversified Telecommunication Services	2.80
Wireless Telecommunication Services	2.51
Food Products	2.02
Oil, Gas & Consumable Fuels	1.25

» Top Holdings (%)

BANK OF AMERICA CORP Variable rate	2.56
Wells Fargo & Company, Series L, 7.500%	2.04
BARCLAYS PLC Variable rate	1.68
JPMORGAN CHASE & CO Variable rate	1.37
NextEra Energy Capital Holdings, Inc., Series U, 6.500%, Due 06/01/2085	1.34
BNP PARIBAS Variable rate	1.28
Xcel Energy Inc., 6.250%, Due 10/15/2085	1.24
CITIGROUP INC Series HH, Variable rate	1.23
CREDIT AGRICOLE SA Variable rate	1.23
CHARLES SCHWAB CORP Series H, Variable rate	1.09

» Credit Quality (%)[5]

A	0.82
A-	0.67
BBB+	16.18
BBB	29.11
BBB-	33.82
BB+	10.97
BB	2.74
BB-	1.78
B-	0.44
NR	3.47

[1]A measure of a bond's sensitivity to interest rate changes that reflects the change in a bond's price given a change in yield.

[2]Institutional Securities are predominantly $1000 par securities and only trade over-the-counter.

[3]Retail Securities are predominantly $25 par securities but also include exchange-traded $20, $50, and $100 par securities.

[4]The weighted average % of par reflects the average price of the fixed income securities within the portfolio as a % of the underlying face value. This is calculated as a weighted average using the market values of each security within the portfolio. A value above 100 indicates that the underlying securities are trading at a premium, on average, and a value below 100 indicates that the underlying securities are trading at a discount, on average. The face value of a bond is typically $100 or $1000 and the face value of an exchange-traded retail security is typically $25.

[5]The credit quality and ratings information presented above reflect the ratings assigned by one or more nationally recognized statistical rating organizations (NRSROs), including S&P Global Ratings, Moody's Investors Service, Inc., Fitch Ratings, or a comparably rated NRSRO. For situations in which a security is rated by more than one NRSRO and the ratings are not equivalent, the highest rating is used. Sub-investment grade ratings are those rated BB+/Ba1 or lower. Investment grade ratings are those rated BBB-/Baa3 or higher. "NR" indicates no rating. The credit ratings shown relate to the creditworthiness of the issuers of the underlying securities in the Fund, and not to the Fund or its shares. Credit ratings are subject to change.

[6]A contingent capital security issued by a non-US bank that differs from a US AT1/Preferred by containing a contractual mechanism for conversion into common equity and/or principal write-down.

[7]As classified by the GICS Industry classification standard.

You should consider the fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Japan Co., Ltd. at www.ftportfolios.jp to obtain a prospectus which contains this and other information about the fund. The prospectus should be read carefully before investing.

Risk Considerations

You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.

Unlike mutual funds, shares of the fund may only be redeemed directly from a fund by authorized participants in very large creation/redemption units. If a fund's authorized participants are unable to proceed with creation/redemption orders and no other authorized participant is able to step forward to create or redeem, fund shares may trade at a premium or discount to a fund's net asset value and possibly face delisting and the bid/ask spread may widen.

Banks are especially subject to the adverse effects of economic recession, currency exchange rates, government regulation, decreases in the availability of capital, volatile interest rates, portfolio concentrations in geographic markets and in commercial and residential real estate loans, as well as competition from new entrants. In addition, banks are subject to extensive regulation at both the federal and state level, which may affect permissible activities, profitability and the amount of capital that they must maintain.

During periods of falling interest rates if an issuer calls higher-yielding debt instruments, a fund may be forced to invest the proceeds at lower interest rates, likely resulting in a decline in the fund's income.

A fund that effects all or a portion of its creations and redemptions for cash rather than in-kind may be less tax-efficient.

Contingent convertible securities ("CoCos") may provide for mandatory conversion into common stock of the issuer under certain circumstances. Since the common stock of the issuer may not pay a dividend, investors in these instruments could experience a reduced income rate, potentially to zero; and conversion would deepen the subordination of the investor, hence worsening standing in a bankruptcy.

A convertible security is exposed to risks associated with both equity and debt securities. The value of convertibles may rise and fall with the market value of the underlying stock or vary with changes in interest rates and credit quality of the issuer.

An issuer or other obligated party of a debt security may be unable or unwilling to make dividend, interest and/or principal payments when due and the value of a security may decline as a result.

Ratings assigned by a credit rating agency are opinions of such entities, not absolute standards of credit quality and they do not evaluate risks of securities. Any shortcomings or inefficiencies in the process of determining credit ratings may adversely affect the credit ratings of the securities held by a fund and their perceived or actual credit risk.

The differences in yield between debt securities of different credit quality may increase which may reduce the market value of a fund's debt securities.

Changes in currency exchange rates and the relative value of non-US currencies may affect the value of a fund's investments and the value of a fund's shares.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. For example, changes in governmental fiscal and regulatory policies, disruptions to banking and real estate markets, actual and threatened international armed conflicts and hostilities, and public health crises, among other significant events, could have a material impact on the value of the fund's investments.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

Investments in debt securities subject the holder to the credit risk of the issuer and the value of debt securities will generally change inversely with changes in interest rates. In addition, debt securities generally do not trade on a securities exchange making them less liquid and more difficult to value.

Depositary receipts may be less liquid than the underlying shares in their primary trading market and distributions may be subject to a fee. Holders may have limited voting rights, and investment restrictions in certain countries may adversely impact their value.

Investments in emerging market securities are generally considered speculative and involve additional risks relating to political, economic and regulatory conditions.

Equity securities may decline significantly in price over short or extended periods of time, and such declines may occur in the equity market as a whole, or they may occur in only a particular country, company, industry or sector of the market.

Political or economic disruptions in European countries, even in countries in which a fund is not invested, may adversely affect security values and thus the fund's holdings. A significant number of countries in Europe are member states in the European Union, and the member states no longer control their own monetary policies. In these member states, the authority to direct monetary policies, including money supply and official interest rates for the Euro, is exercised by the European Central Bank. The implications of the United Kingdom's withdrawal from the European Union are difficult to gauge and cannot yet be fully known.

Extension risk is the risk that, when interest rates rise, certain obligations will be paid off by the issuer (or other obligated party) more slowly than anticipated, causing the value of these debt securities to fall. Rising interest rates tend to extend the duration of debt securities, making their market value more sensitive to changes in interest rates.

Financial services companies are subject to the adverse effects of economic recession, currency exchange rates, government regulation, decreases in the availability of capital, volatile interest rates, portfolio concentration in geographic markets, industries or products, and competition from new entrants in their fields of business.

Please see additional risks on the following page.

Risk Considerations (continued)

Fixed-to-floating rate securities are securities that have a fixed dividend rate for an initial term that converts to a floating dividend rate upon the expiration of the initial term. While fixed-to- floating rate securities can be less sensitive to interest rate risk than fixed-rate securities they generally carry lower yields than similar fixed- rate securities.

Floating rate securities are structured so that the security's coupon rate fluctuates based upon the level of a reference rate. As a result, the coupon on floating rate securities will generally decline in a falling interest rate environment, causing a fund to experience a reduction in the income it receives from the security. A floating rate security's coupon rate resets periodically according to the terms of the security. Consequently, in a rising interest rate environment, floating rate securities with coupon rates that reset infrequently may lag behind the changes in market interest rates.

High yield securities, or "junk" bonds, are less liquid and are subject to greater market fluctuations and risk of loss than securities with higher ratings, and therefore, are considered to be highly speculative.

Hybrid capital securities are subject to the risks of equity securities and debt securities. The claims of holders of hybrid capital securities are generally subordinated to those of holders of traditional debt securities in bankruptcy, and thus hybrid capital securities may be more volatile and subject to greater risk than traditional debt securities.

A fund's income may decline when interest rates fall or if there are defaults in its portfolio.

A fund may be a constituent of one or more indices or models which could greatly affect a fund's trading activity, size and volatility.

As inflation increases, the present value of a fund's assets and distributions may decline.

Interest rate risk is the risk that the value of the debt securities in a fund's portfolio will decline because of rising interest rates. Interest rate risk is generally lower for shorter term debt securities and higher for longer-term debt securities.

If a fund invests in securities of another investment company, a fund may bear its ratable share of that investment company's expenses as well as a fund's advisory and administrative fees, which may result in duplicative expenses. A fund may also incur brokerage costs if purchasing or selling shares of exchange-traded investment companies.

Large capitalization companies may grow at a slower rate than the overall market.

Certain fund investments may be subject to restrictions on resale, trade over-the-counter or in limited volume, or lack an active trading market. Illiquid securities may trade at a discount and may be subject to wide fluctuations in market value.

The portfolio managers of an actively managed portfolio will apply investment techniques and risk analyses that may not have the desired result.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

A fund faces numerous market trading risks, including the potential lack of an active market for fund shares due to a limited number of market makers. Decisions by market makers or authorized participants to reduce their role or step away in times of market stress could inhibit the effectiveness of the arbitrage process in maintaining the relationship between the underlying values of a fund's portfolio securities and a fund's market price.

Securities of non-U.S. issuers are subject to additional risks, including currency fluctuations, political risks, withholding, lack of liquidity, lack of adequate financial information, and exchange control restrictions impacting non-U.S. issuers.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's ability to meet its objective.

Preferred securities combine some of the characteristics of both common stocks and bonds. Preferred stocks are typically subordinated to other debt instruments in terms of priority to corporate income, and therefore will be subject to greater credit risk than those debt instruments.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

Prepayment risk is the risk that the issuer of a debt security will repay principal prior to the scheduled maturity date. Debt securities allowing prepayment may offer less potential for gains during a period of declining interest rates, as a fund may be required to reinvest the proceeds of any prepayment at lower interest rates.

Real Estate Investment Trusts ("REITs") are subject to the risks of investing in real estate, including, but not limited to, changes in the real estate market, vacancy rates and competition, volatile interest rates and economic recession.

Increases in interest rates typically lower the present value of a REIT's future earnings stream and may make financing property purchases and improvements more costly. The value of a fund will generally decline when investors in REIT stocks anticipate or experience rising interest rates.

A fund may be unable to sell a restricted security on short notice or only sell them at a price below current value.

Senior Notes, or "baby bonds," are subject to the risk that the issuer or insurer of a baby bond may default on principal and/or interest payments when due which could affect the income generated by the Fund and/or the value of a baby bond. Baby bonds are also subject to typical risks associated with other fixed-income investments.

A fund with significant exposure to a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by an adverse economic or political development than a broadly diversified fund.

Securities of small- and mid-capitalization companies may experience greater price volatility and be less liquid than larger, more established companies.

Subordinated debt has lower credit ratings and lower priority than other obligations of an issuer during bankruptcy, presenting a greater risk of nonpayment.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

Securities issued or guaranteed by federal agencies and U.S. government sponsored instrumentalities may or may not be backed by the full faith and credit of the U.S. government.

A fund may hold securities or other assets that may be valued on the basis of factors other than market quotations. This may occur because the asset or security does not trade on a centralized exchange, or in times of market turmoil or reduced liquidity. Portfolio holdings that are valued using techniques other than market quotations, including "fair valued" assets or securities, may be subject to greater fluctuation in their valuations from one day to the next than if market quotations were used. There is no assurance that a fund could sell or close out a portfolio position for the value established for it at any time.

A fund may invest in securities that exhibit more volatility than the market as a whole.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor. First Trust Japan Co., Ltd. is the fund's sub-distributor.

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. Nor does the document implicitly or explicitly recommend or suggest an investment strategy, reach conclusions in relation to an investment strategy for the reader or provide an opinion as to the present or future value or price of any fund. First Trust has no knowledge of and has not been provided any information regarding any investor. Financial professionals must determine whether particular investments are appropriate for their clients.

Definitions

Standard Deviation is a measure of price variability (risk). **Alpha** is an indication of how much an investment outperforms or underperforms on a risk-adjusted basis relative to its benchmark. **Beta** is a measure of price variability relative to the market. **Sharpe Ratio** is a measure of excess reward per unit of volatility. **Correlation** is a measure of the similarity of performance. The **ICE BofA Core Plus Fixed Rate Preferred Securities Index** tracks the performance of fixed rate US dollar denominated preferred securities issued in the US domestic market. The **ICE BofA US Investment Grade Institutional Capital Securities Index** tracks the performance of US dollar denominated investment grade hybrid capital corporate and preferred securities publicly issued in the US domestic market. The **ICE USD Contingent Capital Index** tracks the performance of investment grade and below investment grade contingent capital debt publicly issued in the major domestic and eurobond markets. The **ICE BofA US High Yield Institutional Capital Securities Index** tracks the performance of US dollar denominated sub-investment grade hybrid capital corporate and preferred securities publicly issued in the US domestic market. The **Bloomberg U.S. Aggregate Bond Index** covers the investment-grade, U.S. dollar-denominated, fixed-rate taxable bond market, including Treasuries, government-related and corporate securities, MBS, ABS, and CMBS.

§The Morningstar Rating™ for funds, or "star rating", is calculated for managed products (including mutual funds, variable annuity and variable life subaccounts, exchange-traded funds, closed-end funds, and separate accounts) with at least a three-year history. Exchange-traded funds and open-ended mutual funds are considered a single population for comparative purposes. It is calculated based on a Morningstar Risk-Adjusted Return measure that accounts for variation in a managed product's monthly excess performance, placing more emphasis on downward variations and rewarding consistent performance. The Morningstar Rating does not include any adjustment for sales loads. The top 10% of products in each product category receive 5 stars, the next 22.5% receive 4 stars, the next 35% receive 3 stars, the next 22.5% receive 2 stars, and the bottom 10% receive 1 star. The Overall Morningstar Rating for a managed product is derived from a weighted average of the performance figures associated with its three-, five-, and 10-year (if applicable) Morningstar Rating metrics. The weights are: 100% three-year rating for 36-59 months of total returns, 60% five-year rating/40% three-year rating for 60-119 months of total returns, and 50% 10-year rating/30% five-year rating/20% three-year rating for 120 or more months of total returns. While the 10-year overall star rating formula seems to give the most weight to the 10-year period, the most recent three-year period actually has the greatest impact because it is included in all three rating periods. ©2026 Morningstar, Inc. All Rights Reserved. The Morningstar Rating™ information contained herein: (1) is proprietary to Morningstar; (2) may not be copied or distributed; and (3) is not warranted to be accurate, complete or timely. Neither Morningstar nor its content providers are responsible for any damages or losses arising from any use of this information. Past performance is no guarantee of future results.

Teneo Partners

ご留意事項

◆本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

◆ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「ＰＰＭ（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。

◆本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。

◆本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。

◆本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものでは無く、記載内容は予告なく変更されることがあります。

◆本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。

◆ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

◆本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。 又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2026082805

Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）

第一種及び第二種金融商品取引業　関東財務局長（金商）第2315号　加入協会：日本証券業協会
住所：〒104-0031　東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階　Tel：03-4550-2518（代）
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp